

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	ご家族様の来訪者が限られてしまい、来訪されないご入居様は、他者のご家族様を見て寂しくなり、「元気なうちに会いに来て欲しい」と訴えの言葉もあり、ご家族様との絆を大切に職員と共に支えて行きたい。	認知症の活性化にそれぞれのレベルで手を動かし作品に挑戦し達成する支援を行う。イベント行事を多く取り上げ、ご家族様と皆で一緒に楽しめる場づくりの支援を行う。	作品、展示物やイベントのご案内等で呼びかけ、多くのご家族様の来訪にて一緒に楽しめる場を作り、生き甲斐の喜びになる様、取り組み努めて行く。	12ヶ月
2	43	身体機能レベルが低下する事で尿便意が失われ、排泄表で声掛けやトイレ誘導するが、失禁状態も多くパット量が増えトイレでの排泄が難しくなっている。	個々の排泄パターンを習得により、やや早めに トイレへ行く声掛けや誘導及び腹筋運動支援にてトイレで排泄が出来る様、パット量を減らして行く。	腹筋運動支援に力を入れレベルに合った対応で、毎日廊下の歩行練習や車椅子では立位、屈伸運動等、運動機能を高め尿意が感じられ、トイレで排泄出来る支援を目指す。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。